

平成30年2月14日  
県南東部地域医療構想調整会議 資料4

# 岡山赤十字病院玉野分院 公的医療機関等2025プラン

平成29年12月 策定

### I 岡山赤十字病院玉野分院の基本情報

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| 医療機関名 | 岡山赤十字病院玉野分院           |
| 開設主体  | 日本赤十字社                |
| 所在地   | 岡山県玉野市築港五丁目 16 番 25 号 |

|         |                 |     |
|---------|-----------------|-----|
| 許可病床数   | 83床 (平成29年7月1日) |     |
| (病床の種別) | 一般              | 41床 |
|         | 療養              | 42床 |
| (病床機能別) | 回復期             | 41床 |
|         | 慢性期             | 42床 |
|         | 休床等             | 床   |

|         |                 |     |
|---------|-----------------|-----|
| 稼働病床数   | 81床 (平成29年7月1日) |     |
| (病床の種別) | 一般              | 41床 |
|         | 療養              | 40床 |
| (病床機能別) | 回復期             | 41床 |
|         | 慢性期             | 40床 |

|                   |
|-------------------|
| 診療科目 (標榜診療科)      |
| 内科、皮膚科、リハビリテーション科 |

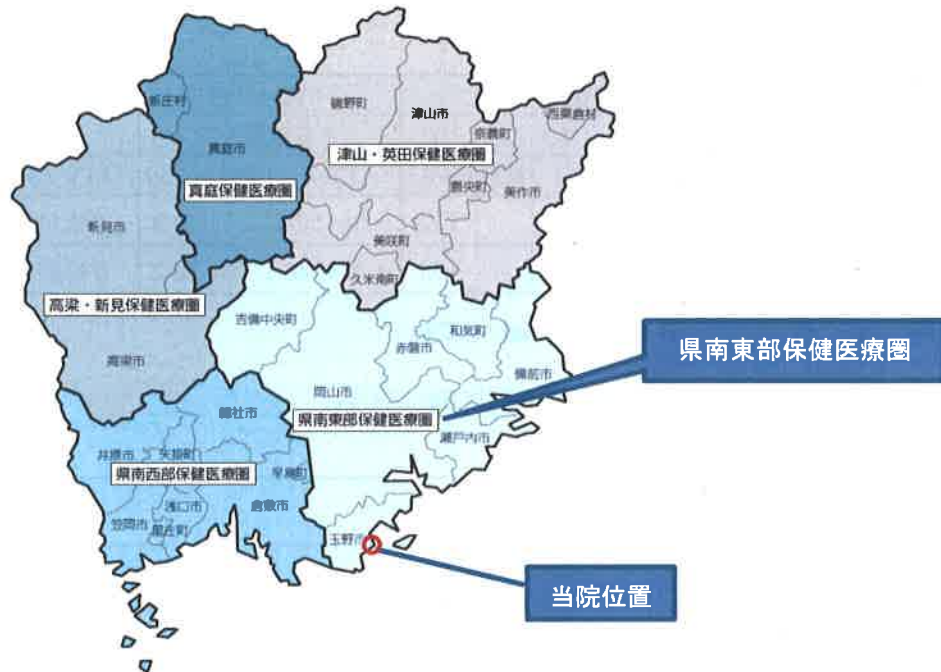
|       |             |     |      |      |      |
|-------|-------------|-----|------|------|------|
| 職員数   | 平成29年7月1日現在 |     |      |      |      |
|       | 職員数         | 医師  | 看護職員 | 専門職  | 事務職員 |
| 常勤職員数 | 73          | 2   | 38   | 12   | 21   |
| 常勤換算数 | 81.8        | 4.5 | 39.3 | 13.7 | 24.3 |

|                       |
|-----------------------|
| 認定・指定等                |
| 併設施設 老人保健施設、居宅介護支援事業所 |

## II 構想区域の現状と課題

### 1. 構想区域の現状

当院が属する県南東部保健医療圏は、平成 21(2009)年 4 月に政令指定都市に移行した岡山市及び岡山地域（玉野市、瀬戸内市、吉備中央町）、東備地域（備前市、赤磐市、和気町）の 5 市 2 町からなっている。



岡山県二次保険医療圏（資料：岡山県「第 7 次岡山県保健医療計画」）

#### (1) 人口の推移

平成 27 (2015) 年 10 月 1 日現在の当圏域の人口は 921,940 人で、岡山県の 47.9% を占めている。人口の推移をみると、岡山市は一貫して増加しているが、岡山地域、東備地域は昭和 60 年以降減少している。

人口（隔年 10 月 1 日現在）

（単位：人）

| 区分          | 岡山市     | 岡山地域    | 東備地域    | 圏域      |
|-------------|---------|---------|---------|---------|
| 昭和55(1980)年 | 590,424 | 131,108 | 105,401 | 826,933 |
| 60(1985)年   | 618,950 | 131,188 | 106,944 | 857,082 |
| 平成 2(1990)年 | 640,406 | 127,277 | 105,176 | 872,859 |
| 7(1995)年    | 663,346 | 126,065 | 105,093 | 894,504 |
| 12(2000)年   | 674,375 | 123,621 | 103,162 | 901,158 |
| 17(2005)年   | 696,172 | 120,168 | 100,334 | 916,674 |
| 22(2010)年   | 709,584 | 115,473 | 96,659  | 921,716 |
| 27(2015)年   | 719,474 | 109,661 | 92,805  | 921,940 |

〈資料：総務省統計局「国政調査」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」〉

<注>旧瀬崎町、旧御津町、旧建部町、旧瀬戸長は岡山市に含め、岡山地域には旧賀陽町を含む。

※県南東部保健医療圏域を岡山市、岡山市周辺の岡山地域(玉野市、瀬戸内市、吉備中央町)東備地域(備前市、赤磐市、和気町)に区分して統計を表記した。

なお、各欄の数値は原則としてその当時の行政区画によるが、加工を行ったものは、それぞれ<注>を表示した。

(2) 年齢階級別人口

人口の構成を見ると、年少人口（0歳～14歳）は119,867人で13.2%、生産年齢人口（15歳～64歳）は544,522人で69.9%、老年人口（65歳以上）は245,117人で26.9%となっている。岡山県と比較すると、年少人口は同率であるが、老年人口比率は1.8%低く、その分生産年齢人口の割合が大きくなっている。

人口構成（平成27年10月1日現在）

| 区分  | 総数        | 0歳～14歳  |        | 15歳～64歳   |        | 65歳以上   |        |
|-----|-----------|---------|--------|-----------|--------|---------|--------|
|     |           | 年少人口    |        | 生産年齢人口    |        | 老年人口    |        |
|     |           | 人口(人)   | 構成比(%) | 人口(人)     | 構成比(%) | 人口(人)   | 構成比(%) |
| 圏域  | 921,940   | 119,867 | 13.2   | 544,522   | 59.9   | 245,117 | 27.0   |
| 岡山県 | 1,921,525 | 247,890 | 13.1   | 1,098,140 | 58.2   | 540,876 | 28.7   |

（資料：岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」）

※「総数」には年齢不詳等を含む。

※構成比については、分母から年齢不詳を除いて算出している。

(3) 病床数の現況及び必要病床数の推計

（単位：床）

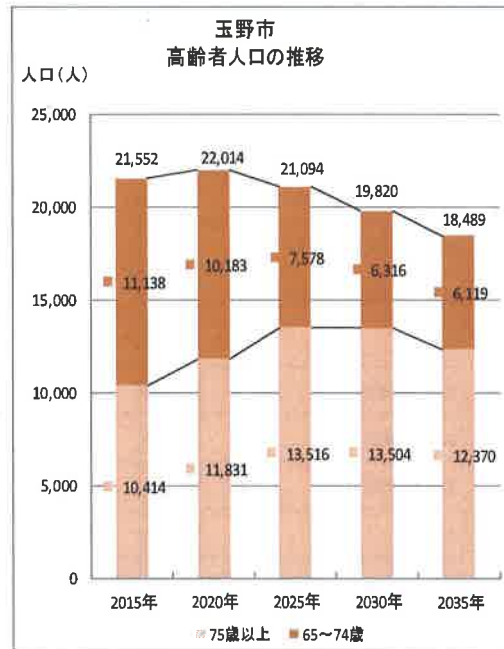
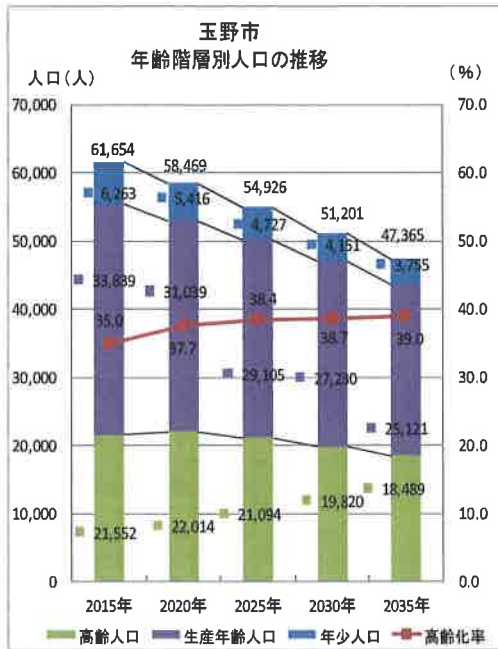
| 構想<br>区域 | 区分    | 平成27年4月1日現在の病床数(調整) |       |         | 必要病床数     |           |           | 区分<br>②-① | ②/①    |
|----------|-------|---------------------|-------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
|          |       | 病院                  | 診療所   | 合計<br>① | H25(2013) | H37(2025) | H52(2040) |           |        |
| 県南東部     | 高度急性期 | 2,385               |       | 2,385   | 1,125     | 1,187     | 1,146     | ▲ 1,198   | 49.8%  |
|          | 急性期   | 4,168               | 556   | 4,724   | 2,968     | 3,335     | 3,318     | ▲ 1,389   | 70.6%  |
|          | 回復期   | 1,006               | 123   | 1,129   | 2,500     | 2,927     | 2,969     | 1,798     | 259.3% |
|          | 慢性期   | 2,365               | 290   | 2,655   | 2,163     | 2,029     | 2,052     | ▲ 626     | 76.4%  |
|          | 無回答   | 258                 | 230   | 488     |           |           |           | ▲ 488     | 0.0%   |
|          | 計     | 10,182              | 1,199 | 11,381  | 8,756     | 9,478     | 9,485     | ▲ 1,903   | 83.3%  |

資料：岡山県「地域医療構想」

(4) 玉野市の現状

①玉野市の人口推移

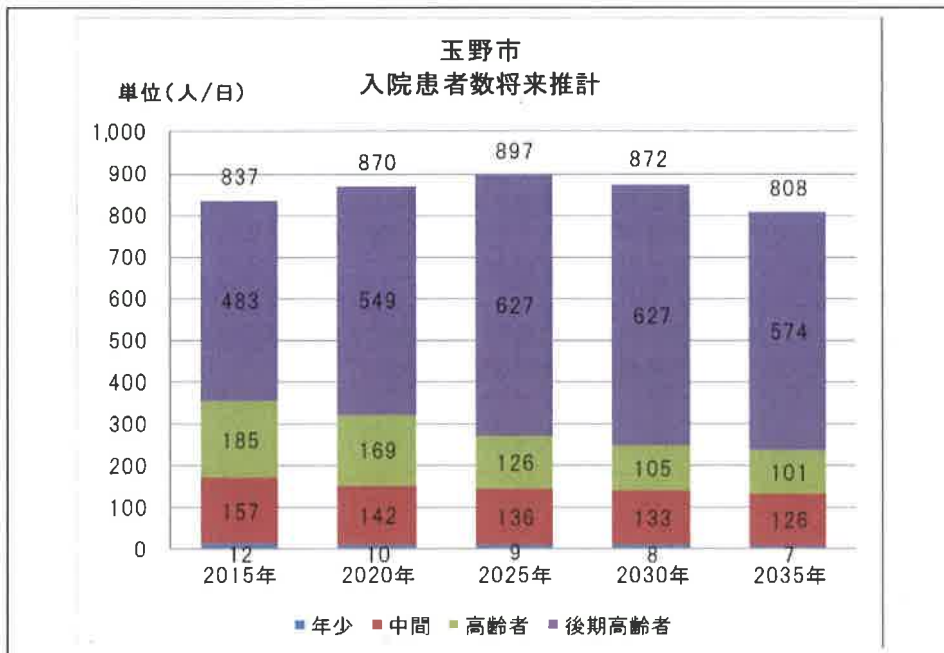
将来人口推計について、国立社会保障・人口問題研究所による推計では、玉野市の人口は今後20年間で約23%、25年間で30%の減少が見込まれている。一方で人口に占める高齢化率は一定の増加が見込まれ、次表の推計としている。



(出典) 国立社会保障・人口問題研究所

## ②玉野市入院患者将来推計

将来患者数推計において、玉野市の将来人口推計に岡山県の患者調査による受療率を掛け合わせた将来患者数推計を見ると、入院患者数のピークは2025年となり、以降は徐々に減少する見込みとなっている。



入院患者数のピーク : 2025年

- ・2035年では2015年と比較して全体で3.4%患者数が減少。
- ・75歳以上の後期高齢者の増加による患者数増加であるため、患者の高齢化がより進行。  
(後期高齢者割合 2015年: 57.7% → 2025年: 69.9%)

※国立社会保障・人口問題研究所による年齢階層別人口推移に患者調査による受療率を乗じて試算

### ③玉野市内の医療機関

玉野市内の医療機関の状況については、以下のとおりで、救急に関しては、三次救急は隣市の岡山市・倉敷市内の複数の病院が担っている状況にある。

| 病院名            | 病床種別（許可病床数） |     |    |     |     | 計   | 病院種別 | 診療科目                    |
|----------------|-------------|-----|----|-----|-----|-----|------|-------------------------|
|                | 一般          | 療養  | 結核 | 精神  | 感染症 |     |      |                         |
| 総合病院玉野市立玉野市民病院 | 199         |     |    |     |     | 199 | 救急告示 | 内、小、外、産婦、整、泌、麻、リハ、眼、耳、脳 |
| 岡山赤十字病院玉野分院    | 41          | 42  |    |     |     | 83  |      | 内、リハ、皮                  |
| 浅羽医学研究所附属岡南病院  |             |     |    | 155 |     | 155 |      | 精、内、麻                   |
| 由良病院           | 42          |     |    | 135 |     | 177 |      | 内、消、整、リハ、放、精、神内、心内      |
| 玉野三井病院         | 93          | 50  |    |     |     | 143 | 救急告示 | 内、外、眼、整、放、歯、耳、麻         |
| 中谷外科病院         | 45          |     |    |     |     | 45  | 救急告示 | 外、胃、肛、リハ、整、麻、内          |
| 玉野中央病院         |             | 42  |    | 51  |     | 93  |      | 内、皮、精、神、心内、消、胃、呼        |
| 大西病院           | 44          |     |    |     |     | 44  | 救急告示 | 内、外、胃、整、肛、麻             |
| 計              | 464         | 134 |    | 341 |     | 939 |      |                         |
| 松田病院           | 52          | 20  |    |     |     | 72  | 救急告示 | 内、外、整、胃、皮、麻             |
| 奥玉病院           |             | 70  |    |     |     | 70  |      | 内、外、麻                   |

資料：岡山県「保健福祉施設・病院等一覧」

玉野市内の医療機関（病院）は現時点（H29.4.1現在）で上記の通りであり、平成28年10月に松田病院、11月に奥玉病院が閉院している。

## 2. 構想区域の課題

第7次保健医療計画における県南東部圏域の課題としては、

○限られた医療資源を有効に活用し、効率的で質の高い医療を提供するため、圏域ごとに医療機関の役割分担と連携の促進を図ることが必要であり、病床機能報告で報告された病床数と必要病床数を比較した場合、当圏域については、高度急性期・急性期の病床数が多く、回復期の病床数が少ないことから、実際に提供している医療を検証した上で、必要な病床への転換等を図る必要がある。

○団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）となる2025年（平成37年）に向けて、病床の機能分化と連携、在宅医療・介護の推進等、効率的かつ質の高い医療提供体制の構築と、地域包括ケアシステムの構築が急務の課題である。

としている。

### Ⅲ 岡山赤十字病院玉野分院の現状と課題

#### 1. 基本理念

|   |
|---|
| 基本理念  |
| <p>— 信頼され親しまれる病院に —</p> <p>1. 私たちは、赤十字精神に基づいた「愛のこころ」を持って診察にあたります。</p> <p>1. 私たちは、皆様の人権を尊重し、温もりのある医療を提供します。</p> <p>1. 私たちは、自己研鑽に励み、良質の医療を提供するよう努めます。</p> <p>手をつなぐ温もり—地域とともに—</p>   |
| 基本方針  |
| <p>1. 十分な情報提供、説明の同意のもとに、患者さまの権利と意見を尊重した医療を推進いたします。</p> <p>1. 急性期、慢性期の病院として、患者さまひとりひとりの病状に応じた適切な医療を提供します。</p> <p>1. 患者さまに最適な医療・介護サービスが受けられるように、高度専門病院、地域の医療・保健・介護施設との連携を大切にします。</p> <p>1. 良質な医療活動を遂行するため、健全な病院運営に努めます。</p> |

#### 2. 患者状況

入院患者は、人口減少に伴い医療需要の減少と相まってやや減少してきている。

当院は地域包括ケア病床を含む一般病棟と療養病棟であり、回復期（亜急性期を含む）及び慢性期の患者が中心となることから、急性期病院からの転院が多いが、近隣病院での急性期を脱した内科、リハビリ患者を受け入れると共に、近医或いは近隣の介護施設からの依頼及び外来患者の急変、末期患者についても積極的に受け入れている。

外来患者については、医師の異動並びに退職により診察室数が減少したこともあり、患者数は減少している。

##### (1) 診療体制（平成 29 年 4 月 1 日現在）

- ・一般入院基本料 15 対 1（41 床 一般 11 床、地域包括ケア病床 30 床）
- ・療養病棟入院料 1（42 床（実働 40 床））

##### (2) 患者数の推移（平成 24 年度～平成 28 年度）

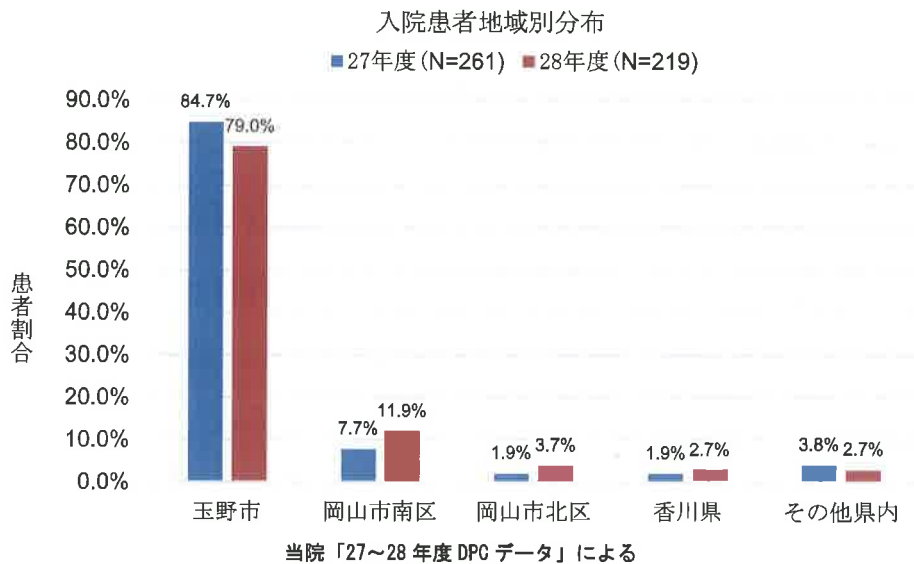
|            | H24      | H25      | H26      | H27      | H28      |
|------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 入院延患者数     | 28,630 人 | 27,965 人 | 27,824 人 | 26,116 人 | 27,352 人 |
| 外来延患者数     | 18,569 人 | 17,549 人 | 15,601 人 | 14,751 人 | 14,023 人 |
| 病床稼働率      | 96.8%    | 94.5%    | 94.1%    | 88.1%    | 92.5%    |
| 平均在院日数     | 99.2 日   | 104.8 日  | 105.7 日  | 88.3 日   | 105.6 日  |
| 平均在院日数(一般) | 64.2 日   | 65.7 日   | 74.2 日   | 63.3 日   | 71.0 日   |

平均在院日数は、一般、療養を合わせた全体の平均在院日数である。  
同（一般）は、一般病棟（3カ月越、地域包括ケアを含む）同数値である。

### (3) 入院患者地域分布

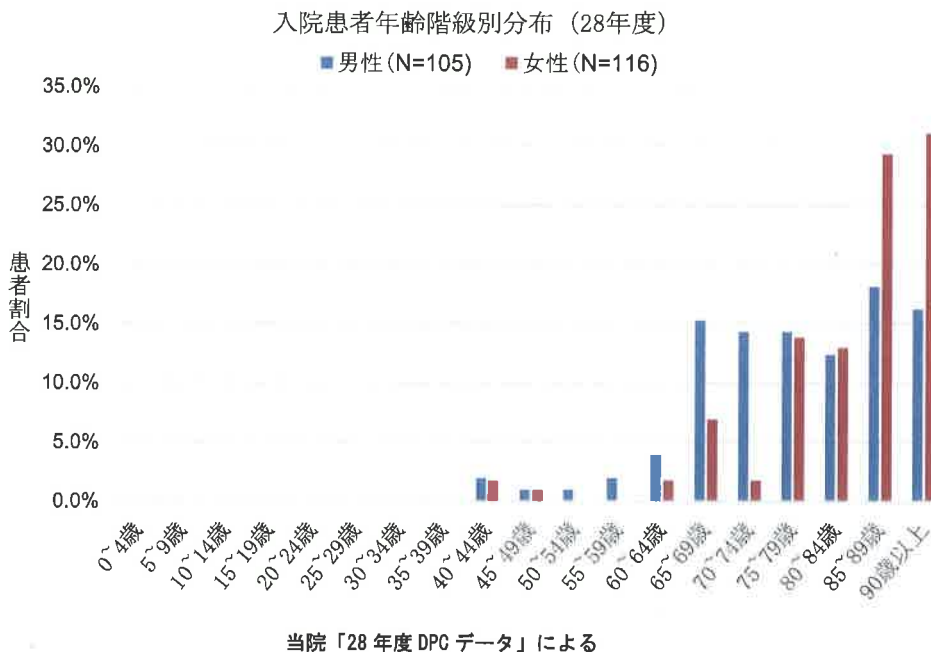
入院患者における地域別を見ると、玉野市内の患者が8割と多く、高齢者となっている。地理的に玉野市は北東から南西に細長く、東側が瀬戸内海と面しており、病院自体も玉野市中央の東端に位置していること、また、交通の便も車を主とすることが多いことから、他の地域から来るよりは、玉野市が中心となる要因である。

香川県からの入院は、直島等の離島からの入院があることから、分布している。



### (4) 入院患者年齢階級別分布

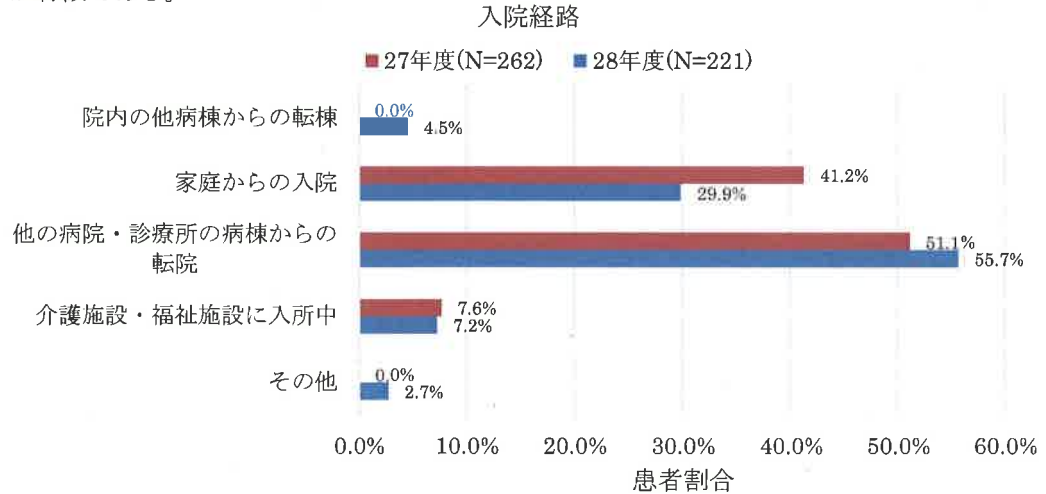
年齢別で見ると、後期高齢者となる75歳以上の患者は、女性では8割以上、男性では6割を占めていることから、高齢者が多いのが見て取れる。40歳代~60歳代にかけては、腱板手術後のリハビリ目的での転院患者がいることから、以下のような分布を示している。





(5) 入院経路

入院の経路を見ると、半数以上は他の病院からの転院が占めており、近隣の急性期病院からの退院先、後方受入先病院としての役割を果たしている病院であるというのが特徴である。

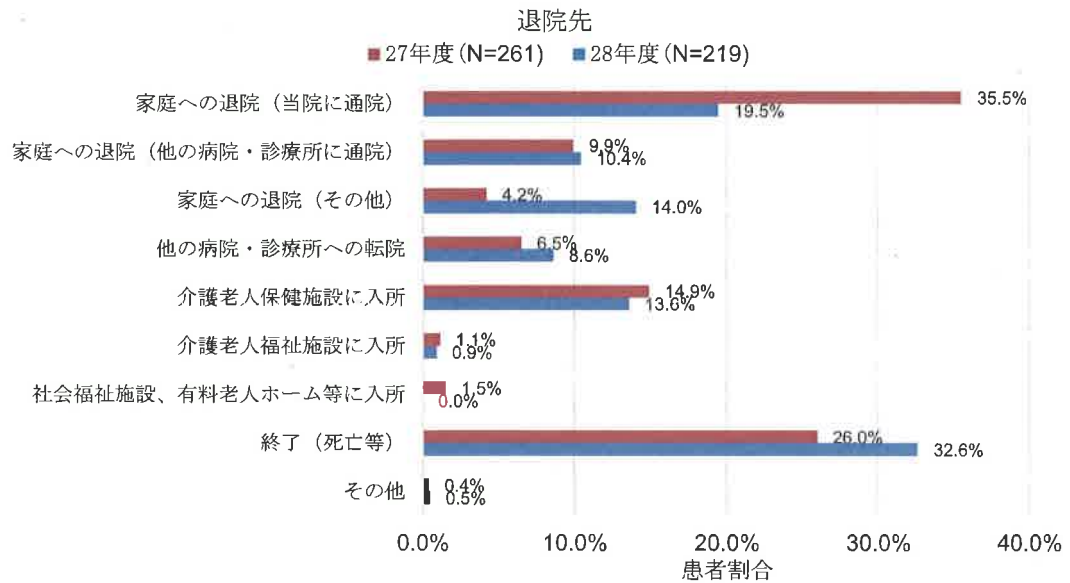


当院「27～28年度DPCデータ」による

(6) 退院先

退院先については、高齢者が多いこともあり約3割が死亡退院となるが、約6割が自宅への退院、若しくは自宅に代わる施設への入所となっている。当院の一般病床のうち30床が地域包括ケア病床であり、在宅復帰率70%以上が必須となる。また、療養病床も在宅復帰機能強化加算を取得していることは、在宅復帰に力を入れている結果とも言える。

更には、併設している老人保健施設においても在宅復帰・在宅療養支援機能加算を取得していることから、病院退院後すぐに自宅に戻るには不安がある場合は、老人保健施設を経由しての在宅復帰を目指している。



当院「27～28年度DPCデータ」による

### 3. 今後の課題

地域の人口減少に伴い、医療需要の減少が見込まれる中、高齢化も進んでいることから、地域の高齢者に対する医療需要としては、今後 10 年、現状程度の需要が見込まれ、急性期医療を受けた後の患者の受け皿となっている現状の体制を維持していくためには、医師及び医療スタッフの充実を図っていくことは一番の課題となる。

また、高度な医療を要しない急性期患者については積極的に受け入れ、早期の在宅復帰に繋げられるような体制を作っていくことが課題となる。

## IV. 今後の方針

### 1. 地域において今後担うべき役割

当院においては、今後も必要と思われる病病、病診連携を基本に置き、主として回復期・慢性期を担う病院として引き続き運営していく。当院施設は内科系の設備のみとなっていることから外科系の手術等の対応はできないが、受け入れた患者について急性期治療が必要と判断されれば、高度或いは専門的な医療施設への紹介など、患者の振分的な役割は引続き行なっていく。

また、岡山市内等の近隣市町村からの患者を含め、急性期を脱した患者の受け入れ先病院として、現状の回復期及び慢性期の病床を生かして、在宅復帰を視野に入れた医療提供をしていくと共に、現在行なっている、在宅・介護施設において治療困難な（がん末期、頻回な吸引を必要とする、繰り返す感染症等）患者の受け入れ、或いは岡山県と協定を結んでいるレスパイト入院、離島からの入院についても、引続き行なっていく。

地域への貢献として、現在当院に在籍している認定看護師（糖尿病、摂食嚥下）、或いは理学療法士・作業療法士において、玉野市等からの講師依頼、地域からの講演依頼について派遣を行なっていく。

### 2. 今後持つべき病床機能

現在の状況としては、当院が方針として掲げた、回復期・慢性期を担う病院としての病床機能は出来上がっており、一般、地域包括ケア、療養の各病床を確保していること、また、老人保健施設を併設していることから、現状を維持していく。

### 3. その他見直すべき点

現状維持ではあるが、今後のこの地域の高齢化並びに人口減少を考えると、しばらくは高齢者医療の需要は見込まれるも、地域全体では医療需要もさらに減少するものと考えられ、玉野市だけでなく岡山市などの近隣市町村との連携を視野に入れて、病床機能の変更を行っていく必要があると考えている。




V 具体的な計画

1. 4機能ごとの病床のあり方について

既に、地域の病院による連携の話し合いが始められており、各病院の機能を生かした役割分担の仕組みを目指したい。

|       | 現在<br>(平成 28 年度病床機能報告) |   | 将来<br>(2025 年度) |
|-------|------------------------|---|-----------------|
| 高度急性期 |                        | → |                 |
| 急性期   |                        |   |                 |
| 回復期   | 41                     |   | 41              |
| 慢性期   | 42                     |   | 42              |
| (合計)  | 83                     |   | 83              |

<年次スケジュール>

|              | 取組内容                          | 到達目標 | (参考)<br>関連施策等   |
|--------------|-------------------------------|------|---|
| 2017 年度      | 第 7 次保健医療計画に沿った 2025 プラン作成    |      |   |
| 2018 年度      | 第 8 次保健医療計画により当院 2025 プランの見直し |      |  |
| 2019～2020 年度 |                               |      |   |
| 2021～2023 年度 |                               |      |  |

2. 診療科の見直しについて  
 <今後の方針>

|       | 現在<br>(本プラン策定時点)      |   | 将来<br>(2025年度)        |
|-------|-----------------------|---|-----------------------|
| 維持    | 内科、リハビリテーション科、<br>皮膚科 | → | 内科、リハビリテーション科、<br>皮膚科 |
| 新設    | —                     | → |                       |
| 廃止    |                       | → | —                     |
| 変更・統合 |                       | → |                       |

3. その他の数値目標について

| 項目名                       | 数値目標 |
|---------------------------|------|
| 病床稼働率                     | 95%  |
| 手術稼働率                     | —    |
| 紹介率                       | 20%  |
| 逆紹介率                      | 20%  |
| 人件費率                      | 60%  |
| 医業収益に占める人事育成に<br>かかる費用の割合 | 0.3% |

VI その他

(自由記載)

当院は赤十字病院である事から、赤十字の使命の1つである災害救護のために救護班1個班を設置し、本院である岡山赤十字病院と連携を取りながら、日本赤十字社岡山県支部の下、訓練への参加、イベントでの救護などさまざまな活動を行っている。また、災害時に対応するため、同県支部の災害救護の資器材倉庫を当院敷地内に設置し、救護所等設置に必要な資器材を分置している。